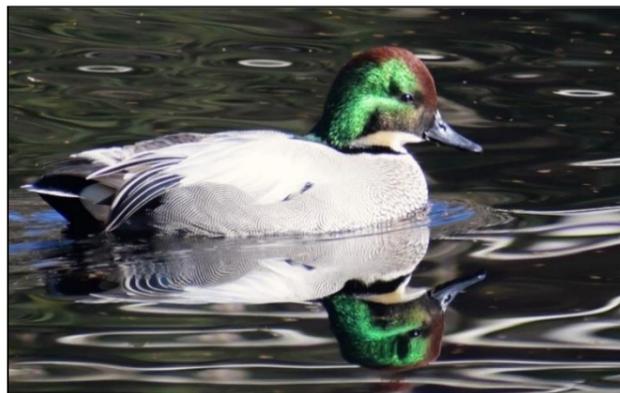




ジョウビタキ（雄）（ヒタキ科） ジョウビタキ（雌）（ヒタキ科）
 エナガやメジロ等動きが早く「落ち着きの無い」野鳥が多い中、愛想良くポーズをとってくれるジョウビタキは、雄雌共に冬鳥の人気者です。



ヨシガモ（雄）（カモ科） ヨシガモ（雌）（カモ科）
 雄は日が当たると頭が緑色に輝きます。雌は雄に比べると地味でくちばし嘴は黒色です。



コブシ（モクレン科）
の冬芽①
 冬芽は白く長い毛で覆われています。



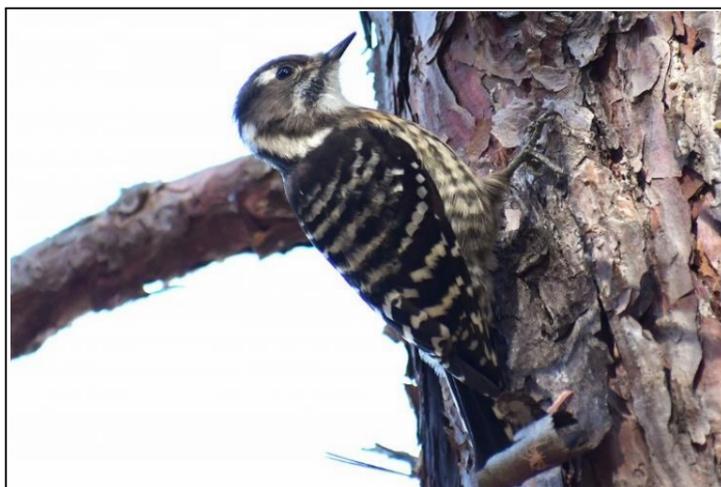
イベントで作ったクリスマスリース②
 エントランス広場のクリスマスツリーと共に当公園のイベントで参加者と力をあわせて作製しました。



トチノキ（ムクロジ科）
の冬芽③
 冬芽は、樹脂で覆われべとべととしています。



コガモ（雄）（カモ科）
 日本に来るカモの中では一番小さなカモです。



コゲラ（キツツキ科）

日本で生息するキツツキでは最も小さいとされています。くちばし嘴で木を連続してつつく「ドラミング」は当公園内でも聞くことができます。「ギー」という声を出して行動します。



サルトリイバラ
（サルトリイバラ科）の実④
 夏季にやぶこ藪漕ぎをする時、とげ棘が痛くて嫌われますが、春に咲く小さな花は雄花、雌花とも淡黄緑色で可愛く、特に秋に赤く熟す実は美しいです。例えば淡路島では、柏餅をサルトリイバラの葉でつつむそうです。

みどころ

兵庫県立三木山森林公園
Mikiyama

令和6年12月下旬

三木山森林公園 検索
 カラー写真入りの「みどころ情報」をHPIにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

サルトリイバラ④、モチツツジ⑤、フユイチゴ⑥は園内各所で見られます。



オカヨシガモ（カモ科）
 写真では、雄が左側、雌が右側に居ます。くちばし嘴は雄が黒色で、雌は橙色です。派手なヨシガモの雄に比べると、オカヨシガモの雄は地味な感じがします。



ハクセキレイ
（セキレイ科）
 近づくと尾羽を上下に振りながら一定の間隔をあけ、「ここまでおいで！」という感じで待っています。



モチツツジ（ツツジ科）
の狂い咲き⑤
 モチツツジは通常4~6月に咲きますが、園内では、この時期に咲いているモチツツジをたまに見かけます。ほぼ年中咲いている個体もあります。



フユイチゴ
（バラ科）の実⑥
 バラ科キイチゴ属の小低木です。キイチゴの仲間では珍しく冬に実が熟すため、フユイチゴと呼ばれています。